

令和3年11月24日

報道関係各位

東洋ライス株式会社
代表取締役 雜賀慶二

東洋ライス創立60周年社会事業②

「JA全農」と連動して

コメ産業界の物流改革「紙袋からフレコン化」によるSDGs活動の推進

このたび、東洋ライス株式会社（和歌山本社：和歌山県和歌山市、銀座本社：東京都中央区、代表取締役：雑賀慶二）は、資源の無駄削減と労働環境の改善に向けたSDGsを目指し、全国農業協同組合連合会様の取り組みと連動し、日本国内の米穀業界の原料玄米の流通に利用されている紙袋の荷姿を再利用可能なフレキシブルコンテナバッグ（以下フレコン）の荷姿への切り替えを加速させる展開を目指します。これにより、紙資源の無駄使いと紙のゴミを作るという時代遅れともいえる紙袋の原料投入作業が無くなりります。更に、資源・労働の無駄削減メリットは、年間120億円以上となり、全世界の喫緊の課題とも云える環境問題をはじめとするSDGsへの貢献をコメ業界全体で推し進めることができます。

現在、国内の米穀企業に流通している年間約468万トンのコメ（農林水産省「米取引における事前契約の現状と課題について」より抜粋）のうち、全体の51%（農林水産省へメールにて問い合わせ）にあたる約238万トンは紙袋での流通となっております。これに使用する使い捨ての紙袋は約7956万袋となり、これらを全てフレコンに変えるだけで、①肉体的負担が大きいことから、運送業者より敬遠されることなく、②廃棄物（開袋した紙袋）を作る重労働の、精米工場で最も敬遠される紙袋の張り込み作業が無くなり、③廃棄する紙資源約1.8万トン/年（※2）の削減に繋がります。

それにより、コメ産業界全体では

- ・原料玄米の流通に必要な包装資材費・・・約23億8680万円（※1）
 - ・原料玄米の流通にかかる人件費・・・約70億9023万円（※3）
 - ・原料玄米ロット毎に生じる端数米による差損額・・・約28億800万円（※4）
 - ・開袋後の紙袋に残って廃棄される原料玄米158トン（※5）・・・約3485万円（※6）
- といった大幅なコスト削減を実現することができます。

今まで、上記メリットがあるにもかかわらず、フレコン化が進まなかった理由としては、⑦小規模コメ生産者ではフレコン設備が無いこと。⑧フレコンは紙袋の様に高く段積みができないこと。⑨多品種少量生産を強いられる精米工場では、フレコンの様な大ロットでの製造が困難。という問題がありますが、⑩においては弊社が簡単なフレコン充填装置を開発したことにより解決でき、⑪においては全農様などが普及を進めている新形態の角型フレコンによって現状以上の段積みが可能となり、⑫においては弊社が開

発した「こめびつ方式タンクシステム」により、精米工場内では紙袋よりも更に少量単位で必要な量の原料玄米を出し入れでき、それぞれ問題を解消することができます。更に弊社は⑦⑧が容易に推進できるように、100 億円の基金を用意すると共に長期的には、これによる SDGs 活動により浮いてくる果実により、同事業の趣旨に参画いただける産地にはフレコン充填装置や、精米工場での「こめびつ方式タンクシステム」費用の負担が無くなります。

既に本事業の趣旨にご賛同いただいた J A 佐久浅間様では、今秋よりパイロット的に原料玄米をフレコンに詰め替える設備を導入し、提携している生産者には再利用できる袋を支給することで、紙袋から完全フレコン化を実現させております。

現場を管理する同組合の課長からは、「本事業は、物流改革、働き方改革といわれているなかで、運転手の手荷役の削減となり、作業負担と出荷物の物流コスト削減が期待できる」、一方、同地域のコメ生産者からも「コロナ禍の情勢や農家にとって明るいニュースが無いなかで、農家としても非常にありがたく、将来に期待している」とそれぞれご評価いただいております。

更に同組合の組合長からは「世界的に動きのある SDGs に対応でき、働き方改革にも沿った労働力削減にもつながる事業。今後ともフレコンによる集荷を進めていきたい」と、この取り組みに大きな意欲を持たれており、産地一体となって大きな波を生み出そうとしています。

※1 1 個あたりの包装資材費（紙袋 160 円、フレコン 100 円）で計算（全国農業協同組合連合会様調べ）

※2 紙袋 1 袋あたり重量 232g（弊社調べ）

※3 フレコン 1 袋（1020kg）あたりの米の流通全体において、紙袋からフレコンに切り替わることで約 87 分の作業時間の短縮になると想定し（弊社調べ）、精米工場での人件費を 2,500 円/時（弊社調べ）、その他の人件費を 2,021 円/時（2019 年度・厚生労働省「賃金構造基本統計調査」から作成）で計算

※4 精米工場では、原料玄米が紙袋であっても最少 30 kg 単位での製造ロットとなり、原料玄米のロットに起因するロス米が発生しています。年間 10,000 トンを精米する工場での原料ロットの 1 日平均を 20 ロット、原料ロット毎のロス米量を 10 kg、格下げ米の差損価格を 100 円/kg として計算（弊社調べ）

※5 張り込み作業での紙袋 1 袋(30kg)あたりの残米による廃棄米 2g（弊社調べ）

※6 玄米価格 60kg あたり 13,144 円で計算（農林水産省「令和 3 年産米の相対取引価格・数量」より抜粋）

【東洋ライス株式会社の概要】

- ・設立=1961 年（昭和 36 年） ・資本金=1 億円
- ・事業内容=金芽米、金芽ロウカット玄米、BG 無洗米の加工・製造・販売、精米機器の開発・製造販売その他 ・電話番号=03-3572-7550 ・ファックス=03-3572-7551
- ・URL = <https://www.toyo-rice.jp/>